

社会福祉法人の地域における
公益的な取り組みについての報告



「令和5年度 北区内の社会福祉法人の地域貢献活動に関する意向アンケート調査」に
ご協力いただいた社会福祉法人の皆様

社会福祉法人 春陽福祉協会
社会福祉法人 豊聖福祉会
社会福祉法人 愛宕福祉会
社会福祉法人 恵生福祉会
社会福祉法人 常陽会
社会福祉法人 シャーローム
社会福祉法人 藤の木原福祉会
社会福祉法人 キングス・ガーデン新潟

社会福祉法人 豊寿会
社会福祉法人 彩のかけはし
社会福祉法人 とよさか福祉会
社会福祉法人 新潟太陽福祉会
社会福祉法人 育和会
社会福祉法人 真生会
社会福祉法人 十和田マリア園
社会福祉法人 ふたつわ会

社会福祉法人 こまくさ福祉会
社会福祉法人 敬世会
社会福祉法人 新盛会
社会福祉法人 とよさか瑞穂会
社会福祉法人 松樹会
社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会



発行元情報 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 北区社会福祉協議会
〒950-3323 新潟市北区東栄町1丁目1-14 北区役所1階 TEL 025-386-2778 FAX 025-388-2914

編集・デザイン NPO法人 新潟ねっと
〒950-2041 新潟市西区坂井東3-3-29 MAIL niigata.net@gmail.com



北区社会福祉協議会
Webサイト

つながる、つなげる、つながった
北区社協×社会福祉法人
北区社会福祉協議会

幅広い「住民」同士の つながりづくり

— つながる、つなげる、つながった —

住民の皆様が気軽に相談できる場所として私たち北区社会福祉協議会があります。地域共生社会における「住民」には、社会福祉法人等も含まれています。地域の悩み事がどうしたら、また、どこにつなげれば解決するのか、私たちがコーディネートします。「地域活動に参加したいけど、どう始めたらいいかわからない」「課題や困りごとを抱える地域とつながりたい」などなんでもお聞かせください。



社会福祉協議会の役割

参加支援

社会福祉法人・施設が、子どもたちや住民に対してプログラムへの参加を積極的に促し、話し相手になったり、利用者同士の交流ができるように支援する。

学び

「住民同士が学び合い、住民相互が支えあう地域のきずなづくり」ができるような、学びの機会をコーディネートする。

協働協同

「多職種連携」「協働/協同実践」について協議できる場や仕組み(=地域のプラットフォーム)をつくり、団体同士のつながりづくりに寄与する。

目的の明確化

関係者が自分事として取り組めるように、何のためにプラットフォームをつくるのか、目的を明確にする。

【参考資料：原田正樹著福祉教育の理論と実践方法～共に生きる力を育むために～(全国社会福祉協議会発行)】

社会福祉施設の拠点化

「受け入れ先」から「拠点」へ

現在、全国に1万8千余りある福祉施設事業を経営する社会福祉法人は、生活課題に対応する多くの専門職が活躍しています。2016(平成28)年の社会福祉法改正により、社会福祉法人は「地域における公益的な取組み」を実施する責務が定められました。そこで期待されているのが「施設の拠点化」です。交流、参加、学びの拠点として、地域貢献活動にどんどん参加する。地域にないサービスを創り出して実行する。ひとつの組織だけでは難しい課題には、多職種と連携する。

「受け入れ先」という受け身の状態ではなく、むしろ主体的に社会福祉法人や福祉施設が「ふくし」を地域住民に伝える。そんな役割が、すべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現していくと考えています。

社会福祉法人に求められる役割



参加
地域貢献活動にどんどん参加する。
例) 地域のごみ拾いや雪かきなど



交流
地域の方とのつながりを積極的に持ち、支え合う。
例) 施設職員による一人暮らしの高齢者の訪問など



学び
ともに学び合い、積極的に創り出す。
例) 地域のイベントを施設で開催、そして更に次のイベントに活かす

社会福祉法人の地域貢献の事例

北区の社会福祉法人が実際に取り組んでいる貢献活動を次のページから紹介します。まずは始めてみよう【ホップ事業】。ちょっと慣れてきたかな【ステップ事業】。だいぶ貢献度合いが高くなってきた【ジャンプ事業】。「こんな事業があるんだ」と参考にできれば幸いです。

ホップ事業
P.03…ながうらの郷
P.04…なぎさの里
P.05…クローバー

ステップ事業
P.06…江風苑
P.07…新潟北愛宕の園

ジャンプ事業
P.08…藤の木原
 デイサービスセンター

ながうらの郷

地域交流スペースの貸し出し



どんな取り組みですか？

婦人会の踊りの練習や民生委員の定例会、自治会のカラオケ大会、地域の茶の間、シルバー人材センターの研修会、障がい者団体のお楽しみ会など多くの方々からご利用いただける、交流スペースの貸し出しです。

取り組みを始めたきっかけは？

施設立ち上げの際に、ステージや音響などを備えたスペースを設置。スペースの利用方法について職員で検討した結果、「地域に開かれた施設」を目指した地域貢献活動の一環として地域団体への無料貸し出しを行うことになりました。

取り組みを通してよかったことなど教えてください。

地域の茶の間が落語会で会場を利用したときは入所者も一緒に楽しませていただき、地域の方との良い交流の機会に。また、地元でEM有機野菜を作っている団体が直売所として利用した際は、有機野菜のほかに漬物などの加工品等も販売し、入所者や施設職員、地域住民等がお買い物を通して交流を図ることができました。

取り組みによって見えてきたことは？

地域の方から施設を知っていただくことで、施設を理解し、思い、育ててくださる方が増え、地域と施設の双方向の情報交換ができたり、風通しがよくなる良いきっかけになると感じています。また、地域の方たちとふれあう機会が増えることで、地域と施設は切り離されたものではなく、「ここは自分の住まいであり、自分もこの地域の一員である」と思っていただけのきっかけにもなるといいなと思います。

実際この取り組みを通して、入所者がお知り合いや地元と一緒にいた方などつながりがある方と再会でき、喜びにつながったケースもあつたんですよ。

事業所情報

社会福祉法人豊聖福祉会
特別養護老人ホーム ながうらの郷
〒950-3343 新潟市北区上土地亀2433-1
TEL:025-386-1188 FAX:025-386-1156



なぎさの里

自治会へのカラオケ機器の貸し出し



どんな取り組みですか？

施設の送迎車を利用して、自治会でを行う地域の茶の間、敬老会などの際にカラオケ機器を貸し出しています。

取り組みを始めたきっかけは？

施設のある島見町自治会で地域の茶の間を立ち上げる際に、一緒に話し合いに参加しました。カラオケを楽しみたい希望があり、施設からカラオケ機器を貸し出すことになり、行事開催日にあわせて土日祝日にも施設の送迎の前後の時間を使って職員がお届けしています。

取り組みを通してよかったことなど教えてください。

周辺自治会へも口コミで広がっていき、地域の茶の間や敬老会に同じくカラオケ機器を貸し出すようになりました。いきいきと活動されている様子を見ると良かったと感じます。また、取り組みを通してなぎさの里を知っていただく機会も増えました。なぎさの里の広報誌を自治会回覧してもらっており、地域の方々へ施設の様子をお伝えしています。

今後はどのように活動を展開していきますか？

地域の茶の間へのカラオケ機器の貸し出しだけでなく、介護講座や体操の出前講座など、相談があれば職員が講師としておじゃますることも考えていきたいと思っています。地域福祉の向上のため、施設で行っている日中おむつゼロの取り組みや自立支援介護のノウハウなども地域に伝える機会が持てるといいですね。コロナ禍を経て施設利用者とボランティアや地域の学校などとの交流も減ってしまいましたが、地域の方との交流の機会も復活させていきたいです。

事業所情報

社会福祉法人恵生福祉会
特別養護老人ホーム なぎさの里
〒950-3102 新潟市北区島見町4524-13
Tel:025-255-3710 FAX:025-255-3727



クローバー

グループホーム入居者の自治会行事 (側溝清掃、餅つき大会、除雪作業)への参加・交流



取り組みのきっかけは？

名称のクローバーは「3つの障がい(身体・知的・精神)と障がいを持たない人が四つ葉になって集う」という意味を込めてつけられたもので、設立20周年を迎えました。ただ、地域に障がい者が住むハードルは高く、地域とのつながりが少ない…。地域で生活している実感を持って方法はないかと考えていました。グループホームがある自治会の班長が変わったタイミングで回覧板がグループホームに回ってくるようになり、行事へお誘いをいただき参加につながりました。

取り組みを通してよかったことなど教えてください。

クローバー通所利用者と施設職員で施設周辺の歩道の除雪作業を行ったときに、地域の方から「ありがとう」と声をかけられ、利用者がはずかしそうに喜ぶ様子が見られました。グループホームでは休日に行われる側溝清掃などにも参加し、徐々に地域の方と挨拶が交わされるようになって、関係性が構築されたことで餅つき大会への誘いを受けるようにもなりました。

取り組みを通して見えてきたことなど教えてください。

グループホーム入居者が自治会の行事に参加できるようになり、利用者にも地域で暮らすことの意味を伝えることができました。入居者はいずれ一人暮らしをして自立していくことをめざしてグループホームで生活していますので、自治会活動への参加のきっかけをもらい、地域活動への参加のイメージが広がったのではないかと考えています。

今後の取り組みの展開など教えてください。

グループホームの様子を自治会の方にも知ってもらう場を考えています。また、クローバーを交流スペースとして活用してもらったり、福祉交流の機会を増やしたりできればと思っています。グループホームが地域の社会資源の一つとなり、同じ地域の住民として、地域のニーズに合った関わり方を提案しながら、つながりを作っていきたいと考えています。

事業所情報

社会福祉法人とよさか福祉会
豊栄福祉交流センター クローバー
〒950-3323 新潟市北区東栄町1-1-49
Tel:025-384-1112 FAX:025-387-4753



江風苑

地域の清掃活動、体操教室、 栄養教室、納涼祭の開催



取り組みを始めたきっかけは？

介護老健施設として地域貢献活動を求められている中で、コロナ禍以前は納涼祭の開催を活動の中心と位置付けていました。しかしコロナ禍で納涼祭の開催ができなくなり、改めて活動内容を見直すことに。「コロナ禍でもできることは何か？」を考え、まずは地域コミュニティの核である神社の清掃活動を施設職員で行うことにしました。次に地域の皆様との交流ということで、リハビリスタッフによる体操教室や管理栄養士による栄養教室の開催を企画しました。

取り組みを通して感じたことはありますか？

はじめての教室は江風苑の施設内で開催しましたが、参加者が少ない状況でした。そこで、地域の方が参加しやすい会場ということで考えたのが、「岡方コミュニティセンター」でした。会場を「岡方コミュニティセンター」にしたことで、センターの職員の皆様に江風苑の活動を知っていただく機会となり、地区主催の『いろいろ岡方サロン』イベントにて体操教室講師の依頼をいただくことにつながりました。コミセンでも行いましたが、「いろいろ岡方サロン」での講師にとコミセン職員から声がかかり、地域と顔がつながることの大切さを実感しました。

取り組みによってどのような効果を感じますか？

活動を通じて地域の方々から江風苑を知っていただく良い機会になり、教室の開催により健康生活を送るための情報を提供できたのではないかと思います。今後は、地域の方との関わりをさらに増やすため、イベントに合わせた清掃活動を行ったり、各種教室参加者を更に増やし健康寿命増進の支援をさせていただけたらと考えております。

取り組みを通じて学んだことなどあれば教えてください。

イベントを企画する際、委員の意見を否定せず、また、「必ずこの時期にしなければならない」という風にガチガチに固めず、ある程度自由さや流動性を残すことが地域貢献活動を長続きさせるコツだと思いました。委員だけで動くわけではなく、委員が方針を固め、その他の職員も活動に協力することで、委員の負担を軽減しています。今後、地域の集まりに講師として呼んでいただけた場合はぜひ前向きに検討していきたいと思っています。

事業所情報

社会福祉法人常陽会
介護老人保健施設 江風苑
〒950-3364 新潟市北区大迎1330
Tel:025-387-7111 FAX:025-387-7200



新潟北愛宕の園

自宅敷地内の除雪のお手伝い



対象者は？

- ・概ね65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯、障がいのある方の住む世帯。
 - ・対象地域は事業所から1km圏内。
- 玄関先から道路までの通路等、生活に必要な動線確保の除雪を行っています。

取り組みを始めたきっかけは？

法人として地域に信頼できる社会福祉法人を目指すということと、事業所開設当初からも、施設長が変わっても一貫して地域への貢献というところは強く言われていました。そこで当時の職員がこの「ちょこっとご近所お助け隊」を発案しました。

取り組みを通して感じることなどありますか？

開始した当初は実績が全くない状態でしたが、それでも少しずつ地域への発信する機会を継続し、令和3年の大雪のときは活動につながりました。そこから毎年継続して取り組んでいます。毎年、継続して利用される方もいて、お互いの顔を知ったり関係性もできてきました。

取り組みを行う中で大切にしていることなどありますか？

地域の中に施設を作らせていただいているということ、その地域への恩返しの気持ちを忘れないようにしています。

取り組みをしてよかったことなど教えてください。

この活動を通して、地域の方々をはじめ、民生委員さんや関係機関の方ともつながる機会にもなりました。このようなネットワークやつながりができることで、お互いに困ったときに助けてと言ってもらえるような関係性を築いていければいいと思っています。

地域の方に向けてメッセージなど

実は困っているけど、誰にも助けを求められない、声を出せない、そういう方がまだたくさんいるかもしれないと感じています。まだこの活動や施設について地域への発信が足りず認知度も低いですが、地道に続けて活動を広げていきたいと思っています。たまに気を使って「スコップを出してくればあとは自分でやる」という方もいらっしゃると思いますが、そこは気を遣わずに、我々にご依頼いただければ気持ちよくやりたいと思っています。誰しも、申し訳ないと思うことはあるかもしれませんが、困ったときはお互いさまという風潮を広めていきたいです。

事業所情報

社会福祉法人愛宕福祉会
特別養護老人ホーム 新潟北愛宕の園
〒950-3324 新潟市北区前新田甲74-1
Tel:025-384-6601 FAX:025-384-6602



藤の木原デイサービスセンター

葛塚太田地区で実施されている「買い物支援事業」への参画



取り組みを始めたきっかけを教えてください。

地域のニーズに対して何ができるか考えていたところ、太田地区で実施している「買い物支援事業」の検討に関わっていた新潟医療福祉大学さんから送迎車を貸し出しできないかとの相談があったことがきっかけです。

きっかけからどのように発展していったのですか？

地域の有志の方々が同じ地域で生活する方を支えようとする取り組みに非常に感銘を受けたんです。施設の経営者として、コストや事故等のリスクはありましたが、社内で検討して私たちがこの地域で社会福祉法人として認可を受けている以上は、その責任を果たす必要がある、と判断。そう決まったら話は進むのは非常に早かったと思います。

活動を行っていて感じることなどありますか？

自分たちとしては、使用していない時間帯の車両を貸し出しているだけなので、大それたことをしている自覚はそこまでなく、むしろ、がんばっているのは地域の有志の方々です。少しでもその方たちの後押しになればと思っています。取り組みを他の広報紙等でも取り上げてもらい、それを見た方から感想や反響、お礼をいただき、改めて地域に貢献できていることを実感しました。

取り組みを通して気付いたことなどあれば教えてください。

地域ではこのようなニーズもあるんだな、と新たな気づきになりました。この取り組みには、いろいろな方に入ってもらい、関わってもらったことが、うまくつながった第一の要素だと感じました。このような取り組みが増え、もっと近い施設等が車の貸し出しができるようになれば地域の有志の皆さんがもっと取り組みやすくなると思います。支える側は負担を感じることもあるかもしれませんが、みんなで少しずつ、少しずつ支えることができれば、思っていたよりも大きなこともできるのではないかと思います。

事業所情報

社会福祉法人 藤の木原福祉会
藤の木原デイサービスセンター
〒950-3307 新潟市北区樋ノ入1143-1
Tel:025-387-6130 FAX:025-387-6131

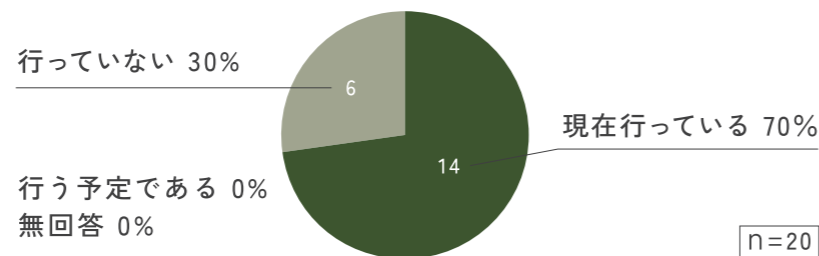


北区社会福祉法人地域貢献活動

趣旨・目的

平成29年4月施行の改正社会福祉法により、施設などを運営する社会福祉法人は地域貢献活動(24条「地域における公益的な取組」及び55条「地域公益事業」)に、より積極的に取り組むことが求められているところです。北区内で施設を運営する社会福祉法人の地域貢献活動の現状を把握し、今後の支援を検討する基礎資料として意向アンケートを行うこととしました。

1 あなたの法人における地域貢献活動について「行っている」「行う予定である」「行っていない」から当てはまるものをお選びください。



2 ①の質問で「地域貢献活動を行っている」または「地域貢献活動を行う予定である」と回答した方にお聞きしました。行っているまたは行う予定の地域貢献活動すべてに✓をしてください。

行っているまたは行う予定の地域貢献活動 n=14



その他

- ・小学校や中学生の職場体験学習の受入れ
- ・地域の神社の清掃活動
- ・地域のゴミ拾い活動への参加、近隣公園の草刈奉仕、近隣ゴミステーション前の除雪
- ・敬老会や地域行事の際のカラオケ機材の貸し出し
- ・地域の商店に来ていただき、入居者様へ販売していただくこと
- ・地域業者の食材を積極的に利用している
- ・コロナ禍のため現在休止しているが、小学校との交流会は機会があれば今後再開する可能性あり
- ・太陽の村との交流会も今後再開する可能性あり

に関するアンケート調査 (令和5年7月~9月)

調査対象 新潟市北区において施設を運営する社会福祉法人

調査方法 区内で施設を運営する社会福祉法人へ郵送で依頼し、調査用紙を返信封筒にて郵送およびメールにて返信

回答状況 20法人/22法人(回答率90.9%) n=回答数

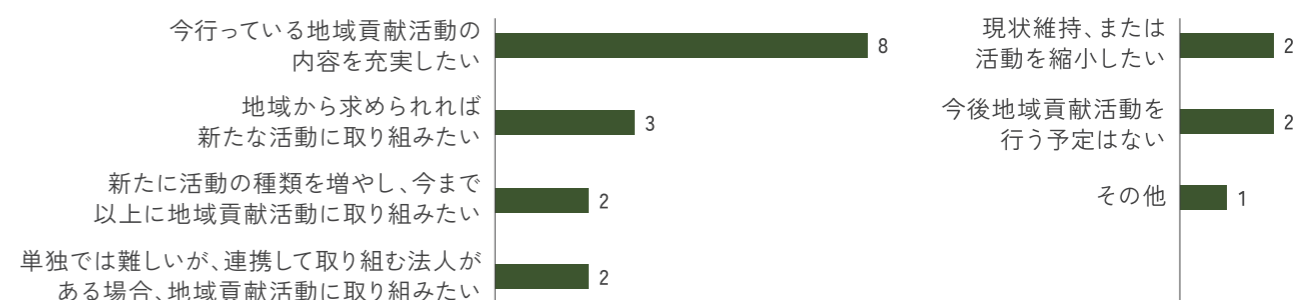
3 ①の質問で「地域貢献活動を行っていない」と回答した方にお聞きしました。地域貢献活動に取り組むことが難しい理由として当てはまるものすべてに✓をしてください。 n=6



その他

- ・コロナ禍以前は、施設において地域の方を対象に体操教室を行ったり、また家族会や地域のボランティアの方々の協力をいただきながら、地域の方を招いて秋祭りを行っていたがコロナが収まったわけではないため、今のところ開催はしない
- ・コロナウイルスで活動が困難となった

4 あなたの法人における、今後の地域貢献活動に対する考え方について、当てはまるもの1つに✓をしてください。 n=20

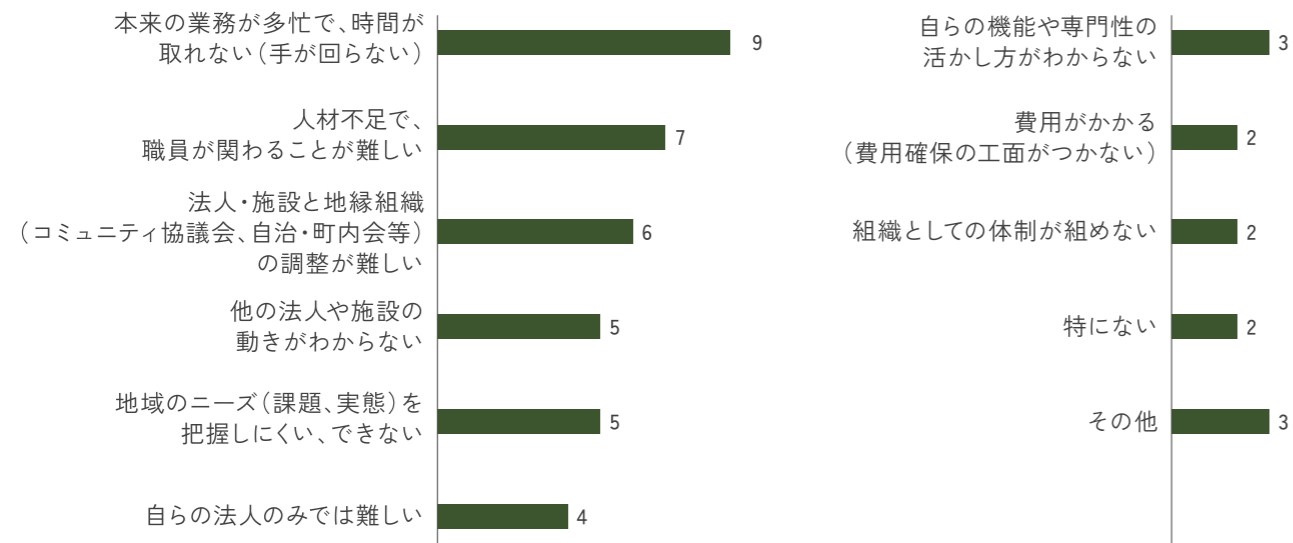


その他

- ・何ができるか地域のニーズがあれば検討したい。社会福祉法人である以上、地域貢献活動は必須と認識しているが人員や財源の確保が難しいことも課題
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、まだクラスター感染の恐れがあることから、施設内での活動は難しい。また人材不足も深刻化している状況にある

北区社会福祉法人地域貢献活動に関するアンケート調査

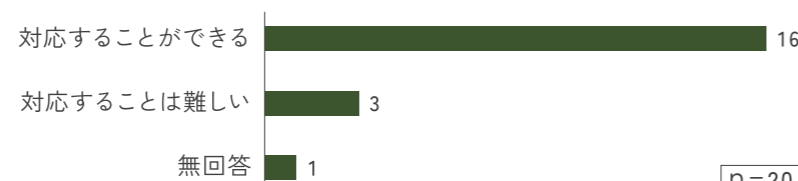
5 ①の質問で「地域貢献活動を行っている」または「地域貢献活動を行う予定である」と回答した方にお聞きしました。地域貢献活動の実施における課題と感ずることについて、当てはまるものすべてに✓をしてください。 n=14



その他

- ・コロナ禍以前は、施設において地域の方を対象に体操教室を行ったり、また家族会や地域のボランティアの方々の協力をいただきながら、地域の方を招いて秋祭りを行っていたがコロナが収まったわけではないため、今のところ開催はしない
- ・コロナの影響もあり、同じようには活動ができない
- ・現在はコロナの状況で難しいと感じている

6 お答えいただいた情報を基に、北区社会福祉協議会から今後の連携について、聞き取りをさせていただくことは可能ですか。 n=20



7 その他地域活動に関する意見等がありましたら、お書きください

- ・地域の方と交流する機会を持ちたいとは思いますが、なかなかハードルが高く、お互いへ交流ができていません。きっかけがあれば、何かの糸口になり、触れ合う機会も増えるのですが、なかなかできていません
- ・今まで連携することのなかった社会福祉法人ともつながり、それぞれの特性を生かしながら多様な地域貢献活動に取り組んでいきたい

アンケート調査から分かる社会福祉法人の地域貢献

今回の調査は、北区に所在する19法人と北区内に事業所等を設置している3法人(東区、中央区、江南区)の合計22法人を対象に行い、20法人から回答が得られました(回答率90.9%)。その結果、全体の7割の法人が地域貢献活動に取り組み、身近な地域での行事・イベント等を通じて地域とのつながりや地域の活性化につながる活動が多くを占めていることが分かりました。また、全体の7割以上の法人が、活動の種類や内容の充実や法人間の連携等を図りながら地域貢献活動を積極的に取り組みたいという考えを持っていることも分かりました。一方で、地域貢献活動に必要な時間、人材、情報等が不足していることや、地域の福祉ニーズの把握や地域コミュニティ等との調整が難しいなどの課題も抱えていることも明らかになりました。

これらの結果から、法人の規模や分野の違い等を超えてネットワークを形成し、地域の福祉ニーズの把握や地域住民が抱えている生活上の課題解決に取り組んでいく方向性が共有化できたのではないかと考えます。この「ツナグる」の発行を契機に、北区社会福祉協議会のコーディネートの下で、法人と地域との連携の仕組みづくりに向けた取組に期待します。

社会福祉法人新潟太陽福祉会 理事長 丸田 秋男



担当者の声

新型コロナウイルス感染症の蔓延をきっかけに地域福祉活動は大きく制限されました。だからこそ今、ボランティアや近隣の自治・町内会など地域の皆様とつながって交流を持ちたいと考えている社会福祉法人も多く、できるなら何か地域貢献活動に取り組みるとよいと考えていることがアンケート調査から見えました。

社会福祉法人の皆様、地域の方々がどのような交流や活動を求めているのかを“直接聴く機会”を持ってみませんか。私たち北区社会福祉協議会が地域と“つなげる”お手伝いをします。社会福祉協議会にはボランティアコーディネーターや生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、介護専門職など様々な職種があり、要望に沿ったご相談に応じて、一緒に地域の方々に関わる機会を持っていきたいと考えています。

地域の方々にはこの冊子を見て「自分たちの地域にある施設についてもっと知りたい」などと関心を持っていただけたら嬉しいです。その施設へおつなぎいたします。

皆様と一緒にワクワクする活動に取り組めることを楽しみにしています。

北区社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー 鈴木 かおり

アンケート調査からわかったこと 教えて丸田理事長！



今回22の社会福祉法人の皆様にご協力いただいたアンケート調査のまとめと、アンケートの回答に対して各法人が困っていること、疑問に思っていることを社会福祉法人新潟太陽福祉会 理事長の丸田秋男さんに伺いました。

丸田理事長プロフィール

新潟医療福祉大学社会福祉学部教授、社会福祉学科長、社会福祉学部長、副学長を歴任し、令和6年4月から現職。

新潟市社会福祉審議会委員長、新潟市地域福祉計画策定・推進委員会委員長として地域共生社会の実現を目指すとともに、新潟市における重層的支援体制整備事業や社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の推進に努めている。

質問①について

今回のアンケートから、現在地域貢献活動に取り組んでいる社会福祉法人の数は14件70%となっており、多くの法人が取り組んでいることがわかった。

質問②について

地域貢献に取り組んでいる、もしくはこれから地域貢献に取り組みたいと考えている内容では、「地域のつながりや地域交流イベント等、地域を活性化する活動」で8件、次いで「住民に行事・イベントへの参加、手伝いの呼びかけ」で5件となっており、イベントなどに関する回答が多い。一方「地域の高齢者等への見守り活動」や「高齢者や障がい者等への外出の支援（移動サービス）」や「生きづらさ（ひきこもり等）を抱えた方の社会参加の場や機会の提供」等の個別の世帯に対する支援に取り組んでいる回答はなかった。

Q. 社会福祉法人が行う個別支援って、どんなことが行われていて、どのようなニーズがあるのでしょうか？

A. 社会福祉法人の行う地域貢献活動の趣旨は、育児、介護、ダブルケア、生活困窮、社会的孤立や孤独など、既存の法制度では対応が困難な地域ニーズを積極的に把握し、法人の自主性と創意工夫に基づいて地域住民が抱えている生活上の課題解決に取り組むことにあります。

その趣旨に沿った個別支援としては、ひきこもりの人に対する生活支援や独居高齢者の見守り支援などが考えられ、次のような取組事例があります。

- ・デイサービスや就労支援事業所におけるひきこもりの人などの受け入れ
- ・独居高齢者の買い物やごみ捨てなどの生活支援
- ・地域内の移動等に困難がある高齢者や障がい者等の移動支援

このような取組が、地域における法人の存在価値を高めていくことに繋がります。



質問③について

地域貢献に取り組んでいない理由としては「本来の業務が多忙で、時間が取れない(手が回らない)」と「人材不足で、職員が関わるのがむずかしい」が多かった。

Q. 人材不足はどのように解消したらよいでしょうか？

A. 各法人は、自らが提供する福祉サービスの充実に全力を注いでおり、地域貢献活動に時間や人材等を割くゆとりがない状況に置かれています。この状況を解消する方策としては、法人同士が分野を超えて連携したり、地域コミュニティ協議会や民生委員等と協働して取り組むことが考えられます。法人が置かれている地域の実情に応じた仕組みづくりを社会福祉協議会と一緒に取り組みましょう。

質問④について

地域貢献に取り組んでいる、もしくはこれから地域貢献に取り組みたいと考えている法人では「今行っている地域貢献活動の内容を充実したい」が8件と多くっており、新たな取り組みよりも現状の活動を充実する考えが多くなっている。また、「地域から求められれば新たな活動に取り組みたい」と考えている法人も多い。

Q. 地域からの求めってどうやってキャッチすればいいの？どうしたら社会福祉法人と地域がつながりを作れるの？

A. 地域には、福祉や介護、子育て、教育、医療、住まい、就労、地域社会からの孤立など生活上の分野を問わない多様な課題があります。利用者本人だけでなく家族全体に着目するとともに、地域住民が抱えている生活上の課題を把握する必要があります。自主的に世代や属性を超えた相談会を開催したり、地域の茶の間や多世代交流の集いの場に参加するなど地域と関わり、地域とつながり続ける活動を大切にしましょう。

質問⑤について

質問3の回答状況と同様に、地域貢献活動の取り組みの有無に関わらず、地域貢献活動の実施における課題として、「本来の業務が多忙で、時間が取れない(手が回らない)」と「人材不足で、職員が関わるのがむずかしい」が多かった。

質問⑥について

地域貢献活動の取り組みの有無に関わらず、今後の社会福祉協議会との連携については「聞き取り可能」と答えている法人が多い。

Q. 社会福祉法人の地域貢献活動に社会福祉協議会が果たせる役割ってなに？

A. 法人の地域貢献活動は、法人が単独で行うだけでなく、複数の法人が連携することで、多様な地域ニーズに対応した取組が可能になります。社会福祉協議会に求められる役割は、法人同士が分野を超えてつながり続けることのできるネットワークづくりです。

質問⑦について

地域の方と交流する機会を持ちたいがハードルが高く、お互いへの交流ができていない。きっかけがあれば糸口になるのでしょうか...という回答があった。

Q. 地域の方との協働のきっかけづくりはどうしたらよいですか？

A. "地域の人々のために"から"地域の人々と共に"という発想の転換が必要です。地域の人々と一緒に活動することを自分の喜びにしている方との「顔の見える関係」をつくりましょう。社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーがサポートします。

北区社会福祉協議会

社会福祉協議会は、それぞれの都道府県、市区町村で、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。

「社協は行政機関？」と聞かれることがありますが、民間の非営利団体です。地域福祉活動、ボランティア・市民活動、介護保険サービスなどの福祉に関する総合的な相談窓口です。区民の皆様からいただいた会員会費と赤い羽根共同募金を主な財源として事業を展開しています。

取り組みのご紹介

地域の居場所づくり

地域の茶の間や子育てサロンなど地域の誰もが参加できる交流の場をつくるためのお手伝いをします。

見守り・生活支援

身近な地域(自治・町内会)の活動を応援します。世代交流で、お互い顔見知りになって見守りや支え合いのしくみづくりに貢献します。

相談支援 ～なんでも相談～

困りごとや悩みごとに対して、幅広くご相談をお受けします。どこに相談したら...と迷ったら、まず社協にご連絡をください。

ボランティア

ボランティアをしたい、手伝って欲しい、関心があるなどご要望をお聞かせください。情報提供やボランティア活動を応援します。

その他にも・・・

- ・地域づくりに参加したい!
- ・ボランティアをやってみたい! 募集したい!
- ・地域の居場所づくりについて相談したい!
- ・ボランティア保険に加入したい!
- ・地域の困りごとを相談したい!
- ・講座、助成金について知りたい!
- ・お金に関することを相談したい!
- ・福祉教育(学校、地域、企業)について相談したい!
- ・どこに相談したらいいかわからない!



● 北区さわやかなんでも相談所

暮らしのなかのあらゆる悩みごと・困りごとに対して相談に応じます。週2回の一般相談に加え、司法書士相談、身体障がい者相談、傾聴相談を実施しています。

電話 025-386-0745 場所 豊栄さわやか老人福祉センター 1階 相談室 〒950-3323 新潟市北区東栄町1-1-35

- 一般相談 毎週月曜日・金曜日 午前9:30～12:00(祝日は休み)
- 司法書士相談 偶数月第2・第4火曜日 奇数月第2火曜日 午後1:45～午後3:45(前日までに予約が必要です)
- 身体障がい者相談 毎月第2木曜日 午前10:00～午後12:30(祝日は休み)
- 傾聴相談 毎月第1木曜日 午前10:00～午後3:00(来所相談のみ)

● 福祉教育の推進

北区ボランティア・市民活動センターでは、学校や自治会・企業等の、ボランティア学習や福祉体験授業・社会貢献活動について相談に応じています。

● 生活のためのお金のこと

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯などを対象として、金融機関や、他の制度からの借入れが困難な世帯に生活福祉資金の貸付相談を行っています。

地域の方のお困りごとに何でも対応いたします。お気軽にお声がけください。

ごあいさつ

社会福祉法人には地域貢献活動に取り組むことが求められています。本会では令和5年度、北区内の社会福祉法人を対象とし、地域貢献活動の現状を調査しました。

その結果、地域貢献活動に前向きな事業所が多い反面、日常業務が多忙で取り組みが困難という現実が浮かび上がりました。

また、調査の中には素晴らしい活動を行っている事業所も多くあり、この冊子の中にいくつか事例を掲載しました。社会福祉法人や地域の方から手に取っていただき、新たな取り組みの創出や住民との連携・協働による支え合い・助け合いに一つでも多く「ツナグる(つながる、つなげる、つながった)」が増え、地域貢献活動のさらなる促進が図られることを期待しています。

北区社会福祉協議会 会長 藤田 清明

お問い合わせ

北区社会福祉協議会

〒950-3323 新潟市北区東栄町1丁目1-14 北区役所1階

電話 025-386-2778 MAIL kita@syakyo-niigatacity.or.jp